

実力者・田中徹が5秒差で優勝！

2008年3月29日 トレイルO大阪大会 (大阪・服部緑地)

関西地区では第2回全日本(滋賀)以来2年4ヶ月ぶりの大規模トレイルO大会。初トレイルOの参加者も多数迎え、賑やかな1日となった。



桜が咲き始め、花見客も多かった会場



翌日の全日本大会会場での表彰式。左から八重樫選手、田中選手、茅野選手 (撮影:丸山則和)

全国のパワー集めて

今大会の主要な役員は地元大阪をはじめ埼玉、愛知、和歌山、島根など全国各地の日本トレイルO研究会会員が担当し、全国のパワーを大阪に集結させての大会開催となった。当日はパークツアー in 関西 2007(公認S)との併催と、翌日に全日本大会を控えた好スケジュールも手伝い、Aクラス116名、B・Nクラス各22名の計160名の参加者を集めた。

田中徹が実力見せつける

Aクラスは13コントロール+2タイム・コントロール(TC)の15点満点で争われ、田中徹選手(京葉OLクラブ)が15点満点11秒で優勝し、以下、八重樫集選手(東北大OLC)が同点16秒で2位、茅野耕治選手(ワンダラーズ)が同じく同点17秒で3位となった。TCで8秒という最高タイムを記録した杉本光正選手(ES関東C)は、第8コントロールで誤答し6位、昨年度日本代表の木村治雄選手(入間市OLC)と大久保裕介選手(ES関東C)はそれぞれ13点22秒の15位と12点23秒の24位に終わった。

なお田中選手は今年7月にチェコで開催される世界トレイルO選手権の日本代表に、選考委員会の推薦により選ばれた。代表入りは2年連続2度目。

関西トレイルO発展へ

和歌山県橋本市から5名のグループで初めてトレイルOに参加した前川さんらは「沢や植生界が難しかった」「天気も良く楽しかった。また参加したい」と話していた。また元オリエンティング日本代表チーム監督の田口肇さんも栃木から参加され「まだまだ経験不足で、もう少し勉強しないとな」と振り返っていた。

今大会について、主管である



大会を終え満足気な表情の田中会長

日本トレイルO研究会の田中博会長は「オリエンティアでトレイルOが初めての方にもたくさんご参加いただき、大阪でこのような指定大会を開催できた意義は大変大きい。関西地区での今後のトレイルOの発展に繋がりたいと思います」と、関西地区でのトレイルOの普及発展に期待と自信を示した。(藤島由宇)

